

「地獄谷野猿公苑」BCP策定サポート

企業紹介

(株)地獄谷野猿公苑

- 代表者: 萩原 敏夫(代表取締役社長)
- 所在地: 長野県下高井郡山ノ内町大字
平穏6845番地
- 従業員数: 7名
- 事業内容: サービス業
- 連絡先: 0269-33-4379

支援を受けて

当苑は山間地に位置しているため、自然災害を受けやすい場所にあります。また、近年は海外からの観光客も多く、新型コロナウイルスやインフルエンザ、未知の感染症の流入の心配もあり、このようなリスクに備え、危機管理体制の構築を検討していました。

この度支援をいただきBCPを策定し、不測の事態への備えが整い、安心してお客様を迎える準備ができました。



萩原社長

支援概要

■企業の現状・課題及び支援の経緯

地獄谷野猿公苑は長野県の北部、上信越高原国立公園の志賀高原を源とする横湯川の渓谷に位置し、川原には、100度近い源泉が吹き上げる国の天然記念物「渋の地獄谷噴泉」がある。1964年(昭和39年)に開苑し、ニホンザルの興味深い生態を間近で観察できる場所として、広く知られている。また、温泉に入るサルとしても知られ、雪の降り積もる寒冷地に暮らすニホンザルは「SNOW MONKEY(スノーモンキー)」と呼ばれ、世界中の人々の興味を集めている。公苑には年間20万人を超える観光客が訪れ、そのうちの半数近くを欧米豪、東南アジア等からの観光客が占めている。

このような中で、令和元年10月に発生した台風19号は東信、北信地域に甚大な被害をもたらした。又、同年12月には新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、世界保健機関は翌年3月にはパンデミック宣言をした。

身近に迫る、気候変動にて頻発する大規模な自然災害や世界的に蔓延する感染症に対して、従業員とその家族の安全、また来苑いただくお客様の安全と安心を基本に「事業継続計画(BCP)」の策定サポートを行った。



■実施した支援内容

事業継続計画「自然災害(地震)」と「新型コロナウイルス感染症」に対する事前準備及び発生時初動対応と事後の対応について、危機管理マニュアルの策定支援を行う。

当社においても、従業員と家族、また、来苑客に対する危機に対する対応方法は整理されていたが、改めてBCP策定マニュアルに沿った形で初動対応と事業継続計画を取り纏めた。

基本方針、対応責任者、対応の手順、更に有事の際の各人の業務分担と初動対応、事業継続のための重要業務を取り纏めた。

支援の結果及び今後の展開等

自然災害発生時の対応や新型コロナウイルス感染症発症対応の整理が付き有事の際のアクションが明確となった。初動対応の各自分担業務は自主的に行動を起こすように繰り返しの訓練を期待したい。

支援を実施して

「事業継続計画」策定に係る要件は、地震災害や感染症に伴う要求内容は理解されており策定様式への落とし込みもスムーズに完了しました。

今後の対応としては、策定内容を従業員の皆さんと共有し訓練の繰り返しと、マニュアルの見直しをお願いしたいと思います。



上席専門経営支援員
田中照光



山ノ内町商工会
主任経営支援員 櫻井理紗